

# 子どもの安全確保に資する取り組み事項の整備内容・水準

## 【床の段差について】

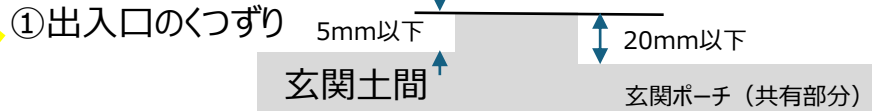
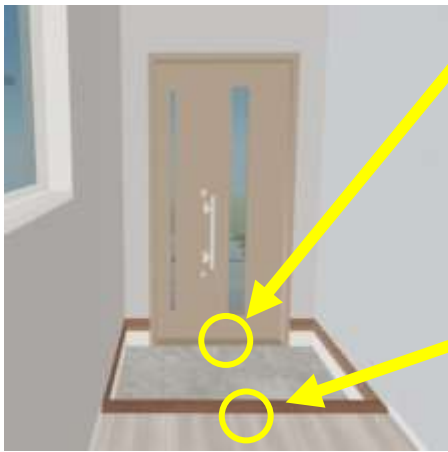
専用部分の床面は段差のない構造とする。

※玄関・浴室・バルコニーに段差が生じる場合 [日本住宅性能表示基準・評価方法基準] における [9-1 高齢者等配慮対策 (専用部分)] の段差に関する評価基準において等級 2 以上の構造とする。

### 玄関

- ① 出入口のくつずり※1と玄関外側の高低差が20mm以下  
かつ、くつずり※2と玄関土間の高低差が5mm以下
- ② 上がり框 (かまち) の段差はできる限り低い段差

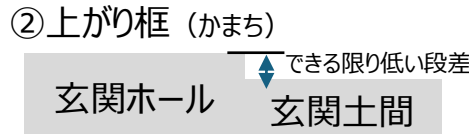
※1くつずり: ドア下枠の部分にある部材  
※2上がり框: 日本家屋にある玄関等の段差



屋内側  
(占有部)

玄関  
ドア

屋外側  
(共有部)



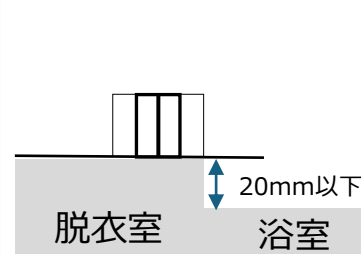
### 浴室

- ① 20mm以下の単純段差
- ② 浴室内外それぞれの床の高低差が120mm以下  
浴室床からのまたぎ段差が180mm以下で、かつ手すりを設置すること。



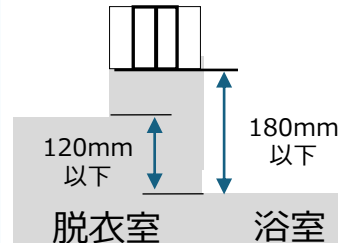
手すり設置

#### ① 単純段差



② またぎ段差となる場合、手すりを設置すること。

#### ② またぎ段差



※浴室においての手すり設置は浴室への出入り、浴槽への出入り両方への対応が必要です。

# バルコニー

単純段差		またぎ段差	
180mm以下	OK	180mm以下	手すり設置要
180～250mm以下	手すり設置要	180～360mm以下	手すり+踏み段設置要
250～360mm以下	踏み段設置要	360mm以上	NG
360mm以上	NG	屋内外の高さ180mm以上NG	

